

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	経絡経穴1
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	東洋療法学校協会 経絡経穴概論				
担当教員情報					
担当教員	安藤 亮		実務経験の有無・職種	有・鍼灸師	
学習目的					
鍼灸施術の基礎となる経絡・経穴（ツボ）について、名称や、主治作用について学ぶ。鍼灸治療にとって最も重要な概念である体内をめぐる気の通り道である経絡を学ぶ。その経路上に存在する経穴の特性を理解することで、治療をするための方法を学ぶ。					
到達目標					
鍼灸治療の基本となる、経絡の走行の理解、経穴の概念に関する知識を理解する。十四の経絡の人体における走行をするために、体表における走行経路や臓腑に関わる経路を学ぶ。更に、経絡上にある経穴の存在を確認し身に付ける。また、其々の経穴の特徴を良く理解し臨床で応用できるようにすることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	経絡・経穴の意義と概要を最初に学ぶ。十二正経、任脈・督脈を基礎として臓腑との関係を学び、体表の走行を理解する。経穴の存在意義を理解し概要を学ぶ。その後、任脈・督脈・十二正経上の経穴の場所を確認し、その経穴の特徴を学ぶ。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	学期末試験にて評価を行う。		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	経絡経穴の基礎①		経絡の役割、正経十二経脈と奇経八脈、各種要穴の特徴を理解する		
2回	経絡経穴の基礎②		骨度法を理解する		
3回	督脈の経穴①		督脈の流注を理解し、大椎穴（GV14）までの取穴部位や特徴を理解する		
4回	督脈の経穴②		巔交穴（GV28）までの取穴部位や特徴を理解する		
5回	督脈の確認テスト・任脈の経穴①		督脈に所属する経穴を順番通りに正確に書けるようになる 任脈の流注を理解し、神闕穴（CV8）までの取穴部位や特徴を理解する		
6回	任脈の経穴②		承漿穴（GV24）までの取穴部位や特徴を理解する		
7回	任脈の確認テスト・肺経の経穴①		任脈に所属する経穴を順番通りに正確に書けるようになる 肺経の流注を理解し、少商穴（LU11）までの取穴部位や特徴を理解する		
8回	肺経の確認テスト・大腸経の経穴①		肺経に所属する経穴を順番通りに正確に書けるようになる 大腸経の流注を理解し、曲池穴（LI11）までの取穴部位や特徴を理解する		
9回	大腸経の経穴②・胃経の経穴①		迎香穴（LI20）までの取穴部位や特徴を理解する 胃経の流注を理解し、大迎穴（ST5）までの取穴部位や特徴を理解する		
10回	大腸経の確認テスト・胃経の経穴②		大腸経に所属する経穴を順番通りに正確に書けるようになる 天枢穴（ST25）までの取穴部位や特徴を理解する		
11回	胃経の経穴③		厲兌穴（ST45）までの取穴部位や特徴を理解する		
12回	胃経の確認テスト・脾経の経穴①		胃経に所属する経穴を順番通りに正確に書けるようになる 脾経の流注を理解し、陰陵泉穴（SP9）までの取穴部位や特徴を理解する		
13回	脾経の経穴②		大包穴（SP21）までの取穴部位や特徴を理解する		
14回	脾経の確認テスト・心経の経穴①		脾経に所属する経穴を順番通りに正確に書けるようになる 心経の流注を理解し、少衝穴（HT9）までの取穴部位や特徴を理解する		
15回	心経の確認テスト・小腸経の経穴①		脾経に所属する経穴を順番通りに正確に書けるようになる 小腸経の流注を理解し、聴宮穴（SI19）までの取穴部位や特徴を理解する		